

環境学習みえ

2022年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行
表紙の人／「ミッションゼロ2050みえ 若者チーム」のみなさん 2022 No.88

春

みんなで進めよう！
「三重県らしいSDGs」



みんなで進めよう！ 「三重県らしいSDGs」

2030年までをSDGs達成に向けた『行動の10年』として、今「誰一人取り残さない」世界をめざして、すべての人々がSDGsを自分ごととして捉えていくことが求められます。

三重県環境学習情報センターではSDGs達成に向けて、環境問題を解決するための環境学習、ESDの普及や情報発信を行っています。令和4年度からの「環境学習みえ」では、三重のさまざまな取組をSDGsと関連づけながら取り上げていきます。

初回は「SDGs未来都市」に選定された三重県のSDGsの取組についてご紹介します。



監修 一般社団法人 SDGs コミュニティ代表理事 新海洋子氏

持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

1 貧困をなくそう 目標1【貧困】 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	2 飢餓をゼロに 目標2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3 すべての人に健康と福祉を 目標3【保健】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	4 質の高い教育をみんなに 目標4【教育】 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5 ジェンダー平等を実現しよう 目標5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	6 安全な水と衛生をみんなに 目標6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 目標7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も 目標8【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	10 人や国の不平等をなくそう 目標10【不平等】 国内及び各国間での不平等を是正する
11 住み続けられるまちづくりを 目標11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	12 つくばない消費と生産 目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費生産形態を確保する
13 気候変動に具体的な対策を 目標13【気候変動】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	14 海の豊かさを守ろう 目標14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15 陸の豊かさも守ろう 目標15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	16 平和と公正をすべての人に 目標16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17 パートナーシップで目標を達成しよう 目標17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化	

出典：パンフレット「持続可能な開発目標 (SDGs) と日本の取組」(外務省)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは、Sustainable Development Goalsの略称で、「持続可能な開発目標」と訳されます。人々の暮らしや社会の豊かさを追求しながら地球環境を守るため、2030年までに達成をめざす世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて、全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。17のゴール（めざす姿）とゴールを達成するための169のターゲット（具体的な達成基準）から構成されています。

2030年までを「行動の10年」に

2021年の報告によると、世界各國のSDGs達成状況には偏りや遅れがあり、国連は危機感を感じています。「誰一人取り残さない」世界を実現するために、2030年までを「行動の10年」として、取組を拡大・加速しなければならないと、世界に呼びかけています。

グローバル化が進んだ現代、国境を超えて影響を及ぼす共通の課題に世界が団結して取り組まなければなりません。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックがSDGsの取組にも多大な影響を与えていますが、「行動の10年」に突入した今、私たちひとり一人にできることをしっかりと考え行動していくことが必要です。

パンフレット「持続可能な開発目標 (SDGs) と日本の取組」(外務省) を引用して編集

国際連合広報センター [もっと知りたい人はこちら](#)

Web 国連広報センター 2030 アジェンダ で 検索

外務省 JAPAN SDGs Action Platform

Web 外務省 SDGs で 検索

2021年 日本のSDGs 達成状況

～「サステナブル・ディベロップメント・レポート2021」より～

SDGs 達成度ランキング

Rank		Score
1位	フィンランド	85.9
2位	スウェーデン	85.6
3位	デンマーク	84.9
4位	ドイツ	82.5
5位	ベルギー	82.2
...		
18位	日本	79.8
(165か国中)		

参考：「Sustainable Development Report 2021」
(Sustainable Development Solutions Network (SDSN) and the Bertelsmann Stiftung)

日本のSDGs 最重要課題

17の目標ごとの達成度を4段階で評価したところ、大きな課題が残るとされた目標は次の5つでした。



2021年 世界の目標別 SDGs進捗状況

13 気候危機は続いていてほとんど収まっていない

2020年の地球の平均気温は、産業革命前の気温を1.2℃上回る

14 私たちの海洋の持続可能性は深刻な脅威にさらされている

プラスチック／海洋汚染 海水温度の上昇 富栄養化 酸性化 漁獲高の急減
半数を超える主要な海洋生物多様性領域が保護されていない

15 国際自然保護連合 (IUCN) のレッドリストで評価対象となった生物種の4分の1超が絶滅の危機に

IUCNレッドリストは、134,400種を超える哺乳類、鳥類、両生類、造礁サンゴ、針葉樹に関するデータを追跡。37,400種超が絶滅の危機に瀕している。

引用：「持続可能な開発目標 (SDGs) 報告2021 概要」(日本語版制作：国連広報センター)

進捗状況の一部を紹介
します！

「三重県らしい、多様で、包容力ある 持続可能な社会」とは？

全ての県民のみなさんが快適で活力に満ちた質の高い生活を送り、「新しい豊かさ」を享受することができる社会です。三重県はSDGs達成年度である2030年にむけて、どのような取組を進めているのでしょうか。

なぜ三重県がSDGs？

SDGsは世界が取り組む17の目標であり、それぞれの地域の課題と向き合いながら解決をめざすものです。特徴は「同時解決」。17の目標を個別に達成するのではなく、同時にいくつもの目標、課題解決へのアプローチを見出すことができます。三重県がめざす社会の姿「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」の実現にむけて、とSDGsの考え方は重なります。

今回は「SDGs未来都市」に選定された三重県の取組についてご紹介します。

「SDGs未来都市」 三重県

内閣府は、SDGsの達成に向けた取組を積極的に進める地方自治体を「SDGs未来都市」に選定しています。県内では、平成30年度に志摩市、令和2年度にいなべ市と三重県が選ばれ、それぞれ特色のあるSDGsの取組が展開されています。全国では124都市（125自治体）が選定されています（令和3年度時点）。

三重県はあるべき姿の実現にむけて、どんな取組をしているの？

ミッションゼロ2050みえ ～みんなで始めるSDGs脱炭素プロジェクト～

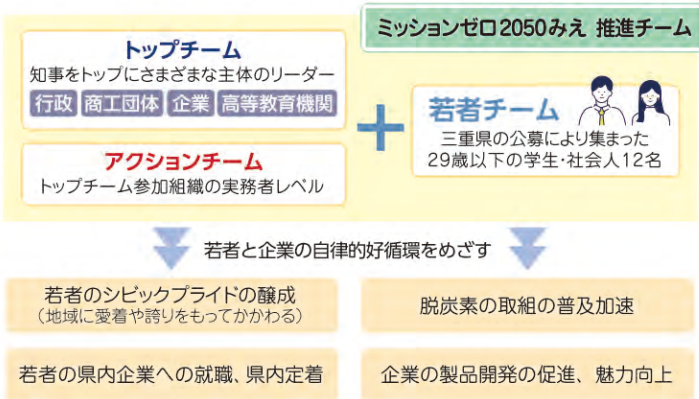
令和元年12月、三重県は脱炭素社会の実現に向け、「脱炭素宣言」を行いました。2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロをめざし、さまざまな取組を進めています。



三重県SDGs未来都市 ～若者とめざすミッションゼロ2050～

令和2年12月、産官学の連携による「ミッションゼロ2050みえ 推進チーム」を立ち上げました。『再生可能エネルギーの利用促進』、『脱炭素経営の促進』、『COOL CHOICEの推進』の3つのテーマの取組を重点的に進めています。

推進チームには「トップチーム」、「アクションチーム」、未来を担う若者たちが参画している「若者チーム」があります。若者チームはトップチームやアクションチームが実施するモデル事業に対して「若者目線」の意見や提案を出しています。



三重県の「2030年のあるべき姿」

若者が積極的に参加することで、若者自身がシビックプライドを育み、自分ごとにして活動できる場をつくり出しています。若者が地域のリーダーとして活躍することで、若者が増え、にぎわいのある三重県へと変わっていきます。

若者チームにインタビュー！

自分にとって、シビックプライドとは？

シビックプライドは、私たちの「未来への責任」です。10年後の未来を生きるのは私たちです。自分たちの未来の生活を守るために行動する責任があると思っています。

「あるべき姿の実現に向けたゴール」 ～経済・社会・環境の三側面の取組～

「ミッションゼロ2050みえ」のプロジェクトを通じて「経済」「社会」「環境」の三側面から、課題解決に向けた活動を進めます。



／ほかに、こんな取組がはじまりました！／ 「三重県 SDGs 推進パートナー登録制度」

県内の企業や団体のSDGsの取組を「見える化」し、後押しすることを目的とした制度です。三重県SDGs未来都市計画に位置づけられ、環境、経済、社会の調和による持続可能な社会の実現につなげます。現在、登録団体を募集しています。

もっと知りたい方は

<https://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/sdgspartner.htm>

お問い合わせ

三重県 戦略企画部 企画課

Tel 059-224-2025 Mail sdgs@pref.mie.lg.jp

若者の行動力とアイデアを原動力に！

令和4年1月、「若者チーム」のミーティングが開催されました。初めての対面での顔合わせで、8名が参加しました（うちオンライン参加2名）。若者たちは、三重県の未来や三重県がどのように脱炭素社会を実現していくとよいと考え、行動しようとしているのでしょうか。

若者チームって どんなことをしているの？

「若者チーム」には、大学の環境委員会で活動している学生や、まちおこしを仕事にしている社会人などがいます。それぞれのフィールドで活動する同世代のメンバーが意見を交わし、提案を出し合い、取組を進めていくことで、刺激し合う関係をつくっています。令和2年11月に開催した第1回キックオフ会議後、トップチームやアクションチームとの意見交換や自主勉強会を行ってきました。

そして今、三重県のさまざまな事例から新たな提案、活動を生み出そうとしています。

今回のミーティングでは、これまでの取組をふりかえり、今後の若者チームについて話し合いました。「脱炭素」だけではなく、SDGsを多くの人が知るための活動を主体的にしていこう！とメンバーの意見が一致しました。「若者チーム」自分のやりたいことが加速するチーム！といった意見もありました。若者のアイデアや行動力がパワーアップする三重県、社会へと近づいているようです。

カードゲーム 「SDGs スクエア」

「SDGs」 17の目標ごとに 三重県の課題を知ろう！

自己紹介をした後、アイスブレイクを兼ねてカードゲーム「SDGsスクエア」を行いました。このカードゲームは、三重県のオープンデータ（公開されている公共のデータ）をクイズにしたコミュニケーションツールです。SDGsを自分ごとに近づけて考えやすくすることを目的に、産学官民の四者の連携により制作されました。ゲームを通して、地域の現状や課題をデータで把握し、多様なセクターの対話の大切さを学ぶ場となりました。



三重県の発電電力量に占める再生可能エネルギーの比率は年間 ____ %である

A 2019年度の三重県の発電電力量に占める再生可能エネルギーの比率は8.47%。全国では33位。内訳は、3.00%が水力で、残りの5.47%が太陽光・風力・バイオマスです。（県内に地熱発電施設はありません）
残りの91.53%は、火力発電です。

提言書をつくらう！

2030年 どんな三重県に？

こんな三重県になってほしい、脱炭素社会を実現するためにこんな取組をしてほしい。そんな思いを形にする「提言書」をつくることにしました。この提言書は知事がリーダーを務めるトップチームに提出します。今回のミーティングでは、「今、三重にあるもので残したいものは？」「2030年に住みたいまちとは？」をテーマにグループワークを行いました。メンバーから色々なアイデアが出され、左図のようなイメージができてきました。このアイデアをより具体的に「どう行動していくか」をまとめていきます。若者が実現したいと考えている三重県の未来。どんな未来デザインができるか楽しみです。



みんなで進めよう！ 「三重県らしさSDGs」

三重県の重要な課題のひとつとして「若者の県外流出」があげられます。若い人に三重県のおよさを知ってほしい、三重県で暮らしてほしい。そして世界的課題でもある「気候変動」。三重県をどのように脱炭素社会にしていくことができるのか。未来をつくる若者に聞いてみたい。若者目線の提案がほしい。そんな思いが重なり合って、若者チームが動き始めました。

今回の取材で若者の積極性を目の当たりにし、脱炭素社会へのシナリオづくりや三重の魅力発信していく様子を想像することができました。メンバーの、「脱炭素やSDGsが身近に存在するものだ」と伝えていきたい「三重県には隠された魅力がたくさんある。自分が体験しながら現場の声を届けられたら」という力強い声も聴きました。

SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標13「気候変動に具体的な対策を」を考え始めている若者たち。SDGsは個別の目標をつなげて考え、同時解決を促すアプローチをつくることができます。若者のセンスで他の目標とも結びつけ、新しいアイデアが出てくることも期待されます。そして、若者だけでなくすべての世代が自分ごととして考え、行動し、誰もが幸せに暮らすことができる「三重県らしいSDGs」を一緒に進めていきます。

トピックス みえ

三重県のこどもエコクラブを紹介します!

◇こどもエコクラブとは

こどもエコクラブは、3歳から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。一緒に活動する仲間(メンバー)と活動を支える大人(サポーター)がいれば、いつでも登録できます。

子どもたちの地域での自主的な環境活動を通して、環境を大切にすることと行動力を育むことや環境活動の輪を広げることを目的としています。

三重県では57クラブ、メンバー8493名、サポーター3614名の仲間が環境活動を頑張っています。

今回は、こどもエコクラブ全国事務局が主催する「全国エコ活コンクール」壁新聞部門への応募作品を紹介します。

鈴鹿川水系の生きものを調査せよ!!



▲こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」

4月から
三重県環境学習
情報センター 展示ホールに
作品のコピーを展示します。
子どもたちの力作を、
見に来てくださいね。



新しい仲間も
大募集中!!!

魚と子どもkidsクラブ(亀山市)

私と野菜の成長日記



鈴鹿イオンアースクラブ
(鈴鹿市)

科学技術部の活動



三重中学校・高等学校 科学技術部
(松阪市)

松名瀬干潟での 科学技術部の調査



三重中学校・高等学校 科学技術部
(松阪市)

◇こどもエコクラブに登録すると

新規登録のクラブはこどもエコクラブの証「メンバーズバッジ」が貰えます。(希望する小学生未満のメンバーは「ぼくの/わたしのエコカード」も貰えます。)活動内容は自由です。まずは「おもしろそう」と感じた身近なことから始めてみましょう。自治体や企業の環境イベントへの参加、地域のごみ拾いや自然観察会、家庭での省エネなど、どんどんチャレンジしてくださいね。頑張った活動を報告すると専門の先生からアドバイスをもらえたり、全国のクラブからエールをもらえたりします。

◇登録先はこちら

- こどもエコクラブ三重県事務局(三重県環境学習情報センター) https://www.eco-mie.com/child_eco_club/
- こどもエコクラブ全国事務局 <http://www.j-ecoclub.jp>

三重県環境学習情報センターでは家庭や地域、学校などで環境学習を進める人材を養成する「環境学習地域リーダー養成講座」を開催しています。

今回紹介するのは“森の案内人”としての必要な知識や技術を持った「森林インストラクター」を目指す方を応援する講座です!

この講座は、今回で5回目を迎え、21名の「森林インストラクター」が誕生しています。講座を修了して、「森林インストラクター」として活躍されている、お二人の体験談をお伝えします。みなさんも“森の案内人”を目指してみませんか?



●合格支援講座1期生

さかのうえ ほうこ
坂上 優子さん



●合格支援講座2期生

はやし あつひさ
林 篤寿さん

1 受講しようと思ったきっかけを教えてください。

森林インストラクターに憧れていたのと、今の自分がどれぐらい森林や林業のことを理解しているのか確かめたく、視野も広げたいと思っていたので、いつか試験を受けたいと思っていました。

そのような時に、第1回講座募集案内を見て、三重森林インストラクター会という、三重県で森林インストラクターとして活動されている方々がいらっしゃることに頼もしさを感じました。合格され、既に活動されている諸先輩方に教えていただけたというのが一番のきっかけです。その当時、私の職場でこの講座を共催として関わることになったのも後押ししてくれました。

愛知県から二十数年前に三重県民の森の近くに移住してきました。引っ越してから知り合った人たちと、山から木を伐り出して、炭焼きやシイタケの原木、薪などにしています。その仲間にはシイタケ栽培農家、炭焼き農家もいて、作業後の囲炉裏端で、樹木のことや昔の里山について色々とお話をしました。彼らと一緒に行動することは「自然をどのように守っていくのか」、「どのように後世に残していくのか」を考えるきっかけとなりました。

そんな時に、たまたま町の文化施設で講座の案内を見つけ、ちょうどリタイアした時期で時間にも余裕があったので、受講してみようと思ったんです。

2 「森林インストラクター」の資格を活かして、どのような活動を行っていますか?

仕事をしながらの試験勉強は大変でしたが、一緒に受講した方々と苦楽を共にした一年間はかけがえのない時間で、今もその同志と講師陣の諸先輩方と県内で活動しています。

活動内容は、幼稚園や小学校、国立青少年自然の家、企業の森などで森林散策をしながら森の中の木々や生きもの、森と人とのつながりなどに気づいてもらうような体験や観察、お話をしています。会員同志では、毎月オンラインでマンスリー研修会を開催し、研鑽しています。

今年は全国の森林インストラクターの方々を三重県に受け入れて案内する全国研修会も予定しています。

森林インストラクター試験の科目は「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全及び教育」の科目があります。日本の自然を守るためには「樹木を切りすぎない」ことだと思っていましたが、森林インストラクターの勉強を通じて、伐採されない人工林が日本全国に多くあり、多くの問題を引き起こしていることを知りました。

今は小学校の林間学校での「森の先生」や地元のホテルの「森林散策」を通じて、日本の森林の状況を伝え、豊かな日本の森林を守ることの大切さを伝えています。

環境学習地域リーダー養成 スキルアップ講座 2022年度「森林インストラクター資格試験合格支援講座」

この講座は(一社)全国森林レクリエーション協会認定の「森林インストラクター」資格取得のための受験対策講座です。受験科目の要点を解説し、受験対策のポイントなどを指導します。

「森林インストラクター資格試験」に合格すると、自然と森林のしくみ、森林づくりと林業、山村の暮らしと文化、森林内での野外活動・安全対策のすべてにおいて知識と技術をもった“森のプロ、森の案内人”として幅広い活躍が期待できます!

みなさんも森林インストラクターになって、森を訪れる人が、心地よく過ごし、楽しみ、感じ、森林を深く知ることができるよう活動してみませんか!

日程、内容 ※詳細はチラシまたはホームページをご覧ください。

2022年5月15日(日)「開講式」	6月26日(日)「森林③」	8月7日(日)「野外活動」
5月29日(日)「森林①」	7月10日(日)「林業①」	8月21日(日)「安全教育」
6月12日(日)「森林②」	7月24日(日)「林業②」	9月11日(日)「試験対策」

時間 10:00-16:30 **会場** 主に三重県環境学習情報センター

※新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑みて、オンライン形式での開催へ変更することもありますので、予めご了承ください。

募集人数 20名 先着順(ただし、三重県内在住の20歳以上の方)

申込締切 2022年4月28日(木) (定員に達し次第、締め切り。)

受講料 1回 2,000円 × 受講回数
※全9回分を一括支払いされる場合は、18,000円を15,000円に値引きします。
※別途テキスト代が必要

申込先 三重森林インストラクター会事務局
3eforestmanager@gmail.com

主催 三重森林インストラクター会 **共催** 三重県環境学習情報センター

森林インストラクター資格試験について

「森林インストラクター資格試験」は、環境教育等促進法に基づく農林水産大臣・環境大臣の登録事業です。

一次試験:2022年9月25日(筆記試験)

会場:札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・高知・福岡

二次試験:2022年11月19日または20日(実技・面接)

会場:東京都

試験科目:「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全及び教育」の4科目(科目別に合否が判定されます)



企画展示

開館時間内 観覧無料

報告
1月

特別展「第22回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール作品展示」

四日市海上保安部・(公財)海上保安協会 四日市支部

特別展示「第22回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」作品展では、海上環境を保全し、青い美しい海を未来に残すため、小中学生による海上環境の保全をテーマにした120点の作品を展示しました。



開催中
2・3月

「内部地区のホタル活動報告とホタル教室」

内部ホタルの里を育てる会

内部地区の農業(水田耕作)用の水路には、ホタルが生息しています。「内部ホタルの里を育てる会」は、緑豊かな自然とホタルを守り、育てていくことを目標としています。ホタルの観察会や小学校のホタル教室、農業体験などにも取り組んでいます。展示では、ホタルの生活史(1年間の生活)を写真で紹介しています。



開催中
2・3月

特別展「伊勢湾にやってくるウミガメ」

ウミガメネットワーク三重

ウミガメが伊勢湾沿岸に産卵にきています。ウミガメの骨や甲羅といった大きな標本や、未孵化卵の胚や子ガメ等の小さな標本、調査結果の掲示物などを展示しています。これを機に、海的环境について考えるきっかけとして欲しいです。



予告
4・5月

「気候変動 ～三重県での影響と適応～」

三重県気候変動適応センター

冬のエコフェア2021

「高校生の環境活動発表会」を開催しました!

今回で5回目となる高校生の環境活動発表会「冬のエコフェア2021」を2021年12月18日(土)、四日市大学、参加各校と審査員をオンラインで結んで開催しました。

発表は3校6団体。日頃の環境活動や環境について学んだことや調べたことを発表し、発表後の総合討論では質疑応答や今後の活動に対するアドバイスなどもありました。最後に審査結果の発表があり、4名の審査員により各団体に賞が贈られました。

これからも環境活動に積極的に取り組んでいただければ幸いです。

【発表団体と内容・受賞した賞】

環境科学賞、環境保全賞

川越高等学校「マイクロプラスチックについての調査」

SDGs賞

暁高等学校 2年生「世界の森林破壊から日本の森林を考える」

国際環境賞

暁高等学校 3年生「海洋プラスチックごみの削減」

循環型社会賞、環境保全賞

名古屋経済大学市邨高等学校「環境保護の活動及び研究発表」

奨励賞

暁高等学校 3年生「放射能を取り除くレーザー」

暁高等学校 3年生「脱炭素社会を目指して」

主催:冬のエコフェア実行委員会2021

(四日市大学/三重県環境学習情報センター)



こどもエコクラブ 県内交流会2021

三重県内のこどもエコクラブの交流と活動報告の機会として毎年開催しています。

今年度もまだ、コロナウイルス感染症拡大防止のため県内各所から集まることが難しいため、お家やまちの中で「エコ」なことを見つけて写真を送ってもらう「みんなでecoウォッチング」を実施!

今回は、8クラブ62人が参加してくれました。

環境に配慮されたマークを見つけた、ごみの分別などのエコ活動を行ったりした写真がたくさん届きました。

「エコ」なことをたくさん見つけてくれて、ありがとうございました♪

分別がんばったね。すごい!

ジュースにマークがよく見つけたね。



「こどもエコクラブ県内交流会2021」

主催:三重県こどもエコクラブ事務局(三重県環境学習情報センター)
協賛:生活協同組合コープみえ・(株)坂崎製麺

こどもエコクラブとは?

3歳から高校生までなら、たれでも参加できる環境活動のクラブです。いつでも無料で登録できます。

詳しくは <http://j-ecoclub.jp/>



講座情報

詳細・申込方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP

講座へのお申込みは
ホームページからも
できます！

<https://www.eco-mie.com/>



※お申込みから3日以内に受付の連絡がない場合は、お問い合わせください。
毎週月・土曜日(祝日を除く)は休館。

今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、講座の延期、または中止となる場合があります。予めご了承ください。

環境学習地域リーダー養成講座 環境基礎講座2022

- 「地球温暖化」 ①5月28日(土) 気候危機
②6月11日(土) 新エネルギー
- 「自然・資源循環」 ③6月26日(日) 水環境
④7月 9日(土) 廃棄物・資源循環
⑤7月23日(土) 森林

各13:45~16:30

会場	サン・ワーク津(津市) ※③のみ、みえ県民交流センター(津市)	締切	5月10日(火) ※先着順
内容	地球環境や三重県の環境について幅広く学べる入門講座です。SDGsの動きも踏まえ、分かりやすく解説していただきます。		

環境学習地域リーダー養成 スキルアップ講座 2022年度 森林インストラクター資格試験 合格支援講座

- 5月15日(日)「開講式」 5月29日(日)「森林①」
6月12日(日)「森林②」 6月26日(日)「森林③」
7月10日(日)「林業①」 7月24日(日)「林業②」
8月 7日(日)「野外活動」 8月21日(日)「安全教育」
9月11日(日)「試験対策」 ※要受講料

会場	主に三重県環境学習情報センター (四日市市)	締切	4月28日(木) ※先着順
内容	(一社)日本森林インストラクター協会認定の「森林インストラクター」資格取得のための資格試験受験対策講座です。講座では「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全と教育」の4教科について要点を解説し、受験対策のポイントなどを指導します。申込先:三重森林インストラクター会		

環境学習地域リーダー養成 スキルアップ講座

「お米だけじゃない! 田んぼのチカラ」

6月18日(土) 10:00~12:00

会場	津市 環境学習センター(津市)	締切	5月25日(水)
内容	田んぼはお米をつくる場だけではなく、遊水池や様々な生物の生息地にもなっています。田んぼの多面的な機能についてお話していただきます。		

環境学習地域リーダー養成 スキルアップ講座

生物多様性シリーズ~移入種について考える~ 「名張のオオサンショウウオからのメッセージ」

6月4日(土) 9:45~12:30

会場	錦生市民センター・名張市郷土資料館(名張市)	締切	5月10日(火)
内容	◇移入種(外来生物)の何が問題か ◇特定外来生物 ◇気をつけること ◇名張市の雑種オオサンショウウオについて ◇雑種オオサンショウウオの見学		

環境工房「草木染め~さくら~」

4月29日(金・祝) 13:00~15:30

会場	三重県環境学習情報センター(四日市市)	締切	4月6日(水)
内容	桜の枝を使って、エコバッグとハンカチを絞り染めます。 材料費1,000円		

環境講座 エコぞうウォーク

~センター周辺の自然を探検しよう~

4月24日(日) 10:00~12:00

会場	三重県環境学習情報センター周辺(四日市市)	締切	4月12日(火)
内容	三重県環境学習情報センターの周辺を歩いて、植物や昆虫を観察し、野鳥の声、景色などを楽しめます。		

環境講座

自然観察会

~自然観察の森を探検しよう~

5月21日(土) 10:00~12:00

会場	自然観察の森(津市リサイクルセンター内)	締切	4月26日(火)
内容	津市リサイクルセンター内の自然観察の森をリーダーと一緒に歩いて、植物や昆虫、野鳥などを観察します。		

環境講座

三重県民の森 自然観察会

原則、毎月第2土曜日9:30~12:00

会場	三重県民の森(菰野町) ※ふれあいの館前集合
締切	三重県民の森のホームページでご確認ください。
内容	三重県民の森の遊歩道を歩いて、植物や昆虫、キノコ、野鳥など、その時期の生物等を観察します。三重県民の森ホームページで確認後、三重県民の森に申し込んでください。

イベント情報

「春のキッズエコフェア」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

※「先着順」以外はすべて抽選となります。各講座の詳細につきましては、お問い合わせください。

三重県環境学習情報センター

入館無料

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	https://www.eco-mie.com/
休館日	毎週月・土曜日(祝日を除く)、 年末年始(12月29日~1月3日)
開館時間	午前9時~午後4時

